

事業報告書

2013（平成25）年度

慈愛園乳児ホーム

はじめに

年度始めの3ヶ月間は少ない入所児数のまま推移したが、7月以降は安定してきた。ほとんどの月で入退所があり、今年度は里親委託が1組、再統合も3組あった。一時保護利用日数については前年度の3倍にまで増加し、児童相談所における社会調査と保護者の入所同意に難航がある模様である。ショートステイの利用理由に要保護ケースも多く、内容もかなり重篤であり、地域での対応が懸念される。こうした状況の中、地域子育ての支援の一環として本園が行っているショートステイ事業や病児デイケア、パパママ教室等は地域の子育て機能の脆弱性を補完する意味においても、有意義な事業として評価出来るであろう。

乳児ホームでは来年度受審予定の「第三者評価」に備え、自己評価を全職員に実施した。共通理解を促すため合議による進捗に努めた結果、全職員の意識改善に資することが出来た。

平成26年度より実施予定の小規模グループケアについては年間を通してプロジェクトチームを中心に検討を重ね運営の計画策定に努めた。来年度は、いよいよ小規模グループホームの開所となるが、より精度の高い実施計画の策定と実施を具現化しなければならない。

1. 平成25年度入退所状況、子育て支援事業の概要について

(1) 平成25年度在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日	11	11	12	14	13	14	15	14	14	13	12	12
退所児	0	3	0	2	1	1	2	0	1	1	1	1
入所児	0	4	2	1	1	3	1	0	0	0	1	1

・初日在籍率 86%

(2) 一時保護児

・12名(延べ342日)

(3) 子育て短期利用事業利用児

・ショートステイ 30泊

(4) 病虚弱児加算対象児 延べ38名

(5) 被虐待児受入加算対象児 7名

(6) 病児保育エーネホーム利用児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H20年度	94	88	65	87	72	67	71	54	52	80	94	31	855
H21年度	62	64	77	126	82	55	45	52	48	48	50	58	767
H22年度	110	75	86	72	55	52	66	64	82	89	94	66	911
H23年度	97	72	97	120	107	94	94	74	96	104	114	107	1136
H24年度	67	67	60	94	80	78	74	90	67	65	85	89	916
H25年度	80	89	86	76	43	39	67	71	85	98	112	102	948

(7) パパママ教室参加者

4月7日	8月4日	10月6日	3月2日	合計
3組(5人)	2組(4人)	4組(7人)	2組(3人)	11組(19人)

2. 平成25年度における苦情解決等の状況について

(1) 平成25年度苦情受付件数は 0件

(2) 事故として扱ったケースは 3件

事故報告書及に再発防止策を添付、職員会議にて全職員に周知

内一件は当事者に始末書を提出させ、将来を戒めるため理事長承認にて「けん責処分」とした。

(3) インシデント・アクシデント(ひやりはっと)として取り上げたケースは 1件

3. 平成25年度業務改善事業総括と課題

～中長期調整計画(平成25～26年度2年目)及び平成25年度事業計画対応～

今年度は厚生労働省発出の中長期計画「児童養護施設等の小規模化及び家庭的養育の推進」における中長期計画調整の最後の年となる。平成25年度は本園もその流れに合わせ基本計画の策定を最重要課題としてきた。今後の課題としては、小規模保育グループの具体的実施方法やその精査、その後の標準的マニュアルの策定等である。

今年度行った自己評価は第三者評価受審における共通理解の涵養という意味合いもあって、職員全員の参加を促した。「第三者評価」を今年度受審する予定だが、受審後の業務改善も受審結果を全職員で共有し速やかな改善計画を策定しなければならない。その他、全職員参加の各プロジェクトについても、専門性向上と協働体制醸成のための有力なツールであり、今後も鋭意推進していかなければならない。

業務改善のための下記各プロジェクトチームの業務についての評価は平成25年2月18日開催の「苦情解決・サービス向上委員会」にて総括し、記録は同報告書に添付。

- ・小規模グループケア検討委員会（資料1）
- ・高倉プロジェクト（資料2）
- ・ライフストーリーワーク研究（資料3）
- ・グリーン&エコプロジェクト（資料4）

4. 各所修繕、環境整備について

今年度は防犯に力を入れ、訓練を行った。また、職員で防犯を考えるチームを立ち上げ、備品の購入、サーチライト設置（3箇所）の工事を行った。女性が多い職場で夜勤もあることから、話し合いは活発に行われ、潜在的に職員らが防犯に対して高い意識を持っているのが覗えた。

5. 平成26年度事業計画の骨子

- (1) 家庭の養育の推進、養育単位の小規模化に向けた基本計画の策定と試行的実施
- (2) 上記及び病児保育充実のための施設設備
- (3) 一昨年度に策定した「養育実践マニュアル」の園内研修及び第三者評価による改訂作業の開始
- (4) 基幹的職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、被虐待児個別対応職員、心理職員等専門職種のある方検討及びケアワーカーとの連携強化による協働体制の確立
- (5) 専門機能強化のための人材確保、個別研修計画の充実
- (6) 地域子育て支援事業の継続及び充実
- (7) 基本計画推進のための平成26年度業務改善各プロジェクト編成と推進